

Ⅲ 危険体感教育の開催

本年度の危険体感教育は、当協会の会長事業場である株式会社中山製鋼所様のご支援とご協力により、年4回（令和6年5月に2回、10月に2回）、安全防災管理室より3名の講師（吉尾室長様、松島作業長様、坂本指導員様）を派遣していただき、西船町管理センターの教育会場と設備をお借りして、計画通り開催することが出来ました。

本年度の特徴は、受講者に女性の皆様が多かったこと（特に10月29日は18名中10名の皆様が女性）と、毎回、管外の事業場様（大阪府内、兵庫県の事業場）より、当協会のホームページを検索されての受講申込がありました。

1 受講者数

年月	月日	受講者（名）	受講事業場（社数）
令和6年 5月	5月 8日	18	7
	5月10日	18	6
令和6年10月	10月16日	18	11
	10月29日	18	10
	計	72	34

2 教育内容

(1) 危険体感教育の講義

『労働災害の現状』と『危険体感教育の意義』について解説をしています。

(2) 危険体感教育の教習

各回とも3班にグループ編成して3会場をまわって危険体感の教習を行っています。

(3) 危険体感教育のまとめ

危険に対する『感受性』と『敢行性』の関係、及び『安全を意識した行動』について解説しています。

3 教育風景

吉尾室長より危険体感の教育の注意点説明と講師紹介

松島作業長より挟まれ災害の事例説明を聞く受講生

吉尾室長よりロール装置の入側での巻き込まれ体感指導

坂本指導員よりVR（仮想現実）で感電をリアル体感指導

危険体感教育で感受性向上